

平成 28 年 3 月 11 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号：2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、下記のとおり、特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の理由、内容及び金額

【連結】

平成 28 年 3 月期 「のれん」の減損損失	125 百万円・・・①
<u>投資有価証券評価損</u>	<u>101 百万円・・・②</u>
特別損失合計	226 百万円（見込み）

①過年度に取得した通販広告子会社の業績が伸び悩んでいることから、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき、期末時点で未償却の「のれん」残高の全額について減損損失を計上するものであります。

②保有する非上場株式の一部について、実質価額が取得価額を著しく下回っていることから、所要の評価損を計上するものであります。

【個別】

平成 28 年 3 月期 関係会社株式評価損	224 百万円・・・①
<u>投資有価証券評価損</u>	<u>101 百万円・・・②</u>
特別損失合計	325 百万円（見込み）

①過年度に取得した通販広告子会社株式の実質価額が取得価額を大幅に下回っていることから、所要の評価損を計上するものであります。なお、当該損失は、連結上消去されるため、連結業績への影響はありません。

②保有する非上場株式の一部について、実質価額が取得価額を大幅に下回っていることから、所要の評価損を計上するものであります。

2. 今後の見通し

当期の連結決算において親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響（税効果控除後）は△200 百万円、個別決算において当期純利益に与える影響は△240 百万円と見込まれます。また、本件特別損失の計上に伴い、当期の業績予想の見直しを行っております。詳細は、「平成 28 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今回の「のれん」の減損処理の結果、次期以降の償却負担は 42 百万円／年減少することとなるため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は同額増加する見込みであります。

以上